

研修カリキュラム表（介護職員初任者研修課程）

事業者名：有限会社 紀伊自動車学校 ジョブスクール東紀州教室

※実施内容については、要綱別紙2「介護職員初任者研修における目標、評価の指針」を網羅すること。

研修カリキュラム（要綱別紙1）		実施計画				
講義・演習（実習）		カリキュラム名・時間数				実施内容（別紙 研修カリキュラム実施内容のとおり）
1	職務の理解 6時間	1	職務の理解	時間数	うち通学 うち通信	1 職務の理解
	(1)多様なサービスの理解		(1) 多様なサービスの理解	3	3	(1)
	(2)介護職の仕事内容や働く現場の理解		(2) 介護職の仕事内容や働く現場の理解	3	3	(2)
2	介護における尊厳の保持・自立支援 9時間	2	介護における尊厳の保持・自立支援	時間数	うち通学 うち通信	2 介護における尊厳の保持・自立支援
	(1)人権と尊厳を支える介護		(1) 人権と尊厳を支える介護	5	1 4	(1)
	(2)自立に向けた介護		(2) 自立に向けた介護	4	0.5 3.5	(2)
3	介護の基本 6時間	3	介護の基本		うち通学 うち通信	3 介護の基本
	(1)介護職の役割、専門性と多職種との連携		(1) 介護職の役割、専門性と多職種との連携	2	1 1	(1)
	(2)介護職の職業倫理		(2) 介護職の職業倫理	1	0.5 0.5	(2)
	(3)介護における安全の確保とリスクマネジメント		(3) 介護における安全の確保とリスクマネジメント	1.5	1 0.5	(3)
	(4)介護職の安全		(4) 介護職の安全	1.5	0.5 1	(4)

4 介護・福祉サービスの理解と医療との連携 9時間		時間数	うち通学	うち通信	4 介護・福祉サービスの理解と医療との連携	
(1) 介護保険制度		2.5	0.5	2	(1)	
(2) 障害者総合支援制度及びその他の制度		2	0.5	1.5	(2)	
(3) 医療との連携とリハビリテーション		4.5	0.5	4	(3)	
5 介護におけるコミュニケーション技術 6時間		時間数	うち通学	うち通信	5 介護におけるコミュニケーション技術	
(1) 介護におけるコミュニケーション		5	2.5	2.5	(1)	
(2) 介護におけるチームのコミュニケーション		1	0.5	0.5	(2)	
6 老化の理解 6時間		時間数	うち通学	うち通信	6 老化の理解	
(1) 老化に伴うところとからだの変化と日常		3	1.5	1.5	(1)	
(2) 高齢者と健康		3	1.5	1.5	(2)	
7 認知症の理解 6時間		時間数	うち通学	うち通信	7 認知症の理解	
(1) 認知症を取り巻く状況		1	0.5	0.5	(1)	
(2) 医学的側面から見た認知症の基礎と健康管理		2	1	1	(2)	
(3) 認知症に伴うところとからだの変化と日常生活		2	1	1	(3)	
(4) 家族への支援		1	0.5	0.5	(4)	

8 障がいの理解		3時間
(1) 障害の基礎的理解		
(2) 障害の医学的側面、生活障害、心理・行動の特徴、かかわり支援等の基礎的知識		
(3) 家族の心理、かかわり支援の理解		
9 ころとからだのしくみと生活支援技術		7.5時間
ア 基本知識の学習		11時間
(1) 介護の基本的な考え方		
(2) 介護に関するころのしくみの基礎的理解		
(3) 介護に関するからだのしくみの基礎的理解		
イ 生活支援技術の講義・演習		54時間
(4) 生活と家事		
(5) 快適な居住環境整備と介護		
(6) 整容に関連したころとからだのしくみと自立に向けた介護		
(7) 移動・移乗に関連したころとからだのしくみと自立に向けた介護		
(8) 食事に関連したころとからだのしくみと自立に向けた介護		

8 障がいの理解	時間数	うち通学	うち通信	8 障害の理解
(1) 障害の基礎的理解	1	0.5	0.5	(1)
(2) 障害の医学的側面、生活障害、心理・行動の特徴、かかわり支援等の基礎的知識	1	0.5	0.5	(2)
(3) 家族の心理、かかわり支援の理解	1	0.5	0.5	(3)
9 ころとからだのしくみと生活支援技術				9 ころとからだのしくみと生活支援技術
ア 基本知識の学習	時間数	うち通学	うち通信	ア 基本知識の学習
(1) 介護の基本的な考え方	4	1	3	(1)
(2) 介護に関するころのしくみの基礎的理解	3.5	0	3.5	(2)
(3) 介護に関するからだのしくみの基礎的理解	3.5	0	3.5	(3)
イ 生活支援技術の講義・演習	時間数	うち通学	うち通信	イ 生活支援技術の講義・演習
(4) 生活と家事	6	6	0	(4)
(5) 快適な居住環境整備と介護	4.5	4.5	0	(5)
(6) 整容に関連したころとからだのしくみと自立に向けた介護	6	6	0	(6)
(7) 移動・移乗に関連したころとからだのしくみと自立に向けた介護	6	6	0	(7)
(8) 食事に関連したころとからだのしくみと自立に向けた介護	9	9	0	(8)

第1-2号様式

(9)入浴、清潔保持に関連したところとからだのしくみと自立に向けた介護	(9) 入浴、清潔保持に関連したところとからだのしくみと自立に向けた介護	9	9	0	(9)
(10)排泄に関連したところとからだのしくみと自立に向けた介護	(10) 排泄に関連したところとからだのしくみと自立に向けた介護	6	6	0	(10)
(11)睡眠に関連したところとからだのしくみと自立に向けた介護	(11) 睡眠に関連したところとからだのしくみと自立に向けた介護	4.5	4.5	0	(11)
(12)死にゆく人に関連したところとからだのしくみと終末期介護	(12) 死にゆく人に関連したところとからだのしくみと終末期介護	3	3	0	(12)
ウ 生活支援技術演習 10時間	ウ 生活支援技術演習	時間数	うち通学	うち通信	ウ 生活支援技術演習
(13)介護過程の基礎的理解	(13) 介護過程の基礎的理解	3	3	0	(13)
(14)総合生活支援技術演習	(14) 総合生活支援技術演習	7	7	0	(14)
10 振り返り 4時間	10 振り返り	時間数	うち通学	うち通信	10 振り返り
(1)振り返り	(1) 振り返り	2	2	/	(1)
(2)就業への備えと研修終了後における継続的な研修	(2) 就業への備えと研修終了後における継続的な研修	2	2	/	(2)
追加カリキュラム					
計 (130時間)	計 (130時間)				

※ 通学時間数には通学形式で講義・演習を実施する時間数、通信時間数には自宅学習にあてる時間数を記入すること。

※ 各項目について、通学時間数を0にすることはできない。なお、通信時間数については別紙3に定める時間以内とする。

※ 時間配分の下限は、30分単位とする。

※ 項目ごとに時間数を設定すること。

※ 実施内容には、講義内容、演習の実施方法、通信学習課題の概要等を記載すること。(別紙でも可)

※ 実技演習を実施する場合は、実技内容・指導体制を記載すること。